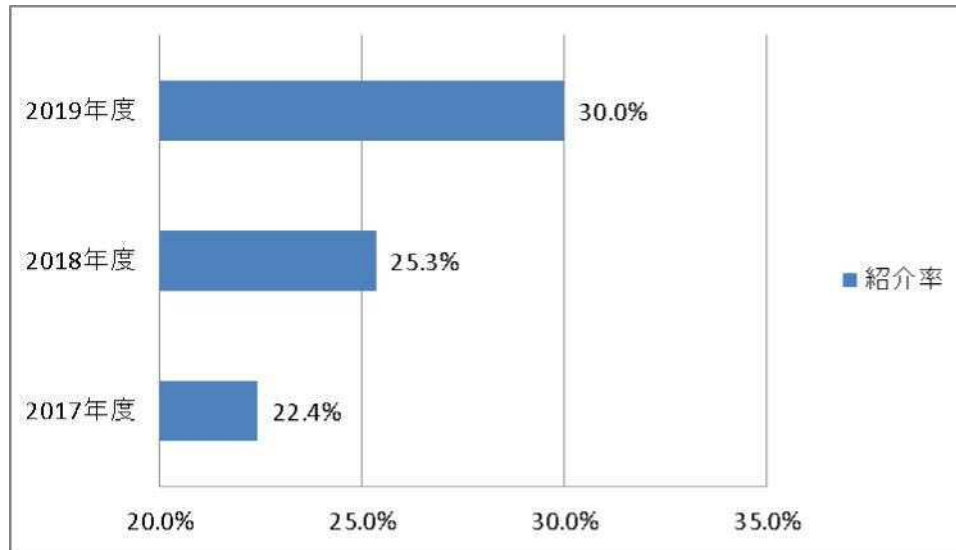


(6) 紹介率・逆紹介率

【指標の説明】

- ・『紹介』とは、地域の診療所や他の病院などから紹介状を持参して受診することです。紹介率とはその割合です。また『逆紹介』とは、当院から地域の診療所や他の医療機関へ紹介状を作成し紹介することです。逆紹介率とはその割合を指します。
- ・近年、医療現場は多様化しており、各医療機関の特性や機能を明確化し、地域の医療機関との連携・機能分化を促すことが重要視されております。高度な医療を提供する医療機関にだけ患者が集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院を紹介受診する、そして治療を終え症状が落ち着いたら、「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携が強化され、切れ間のない医療の提供が行われます。つまり、紹介率・逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の度合いを示す指標になります。

【紹介率】



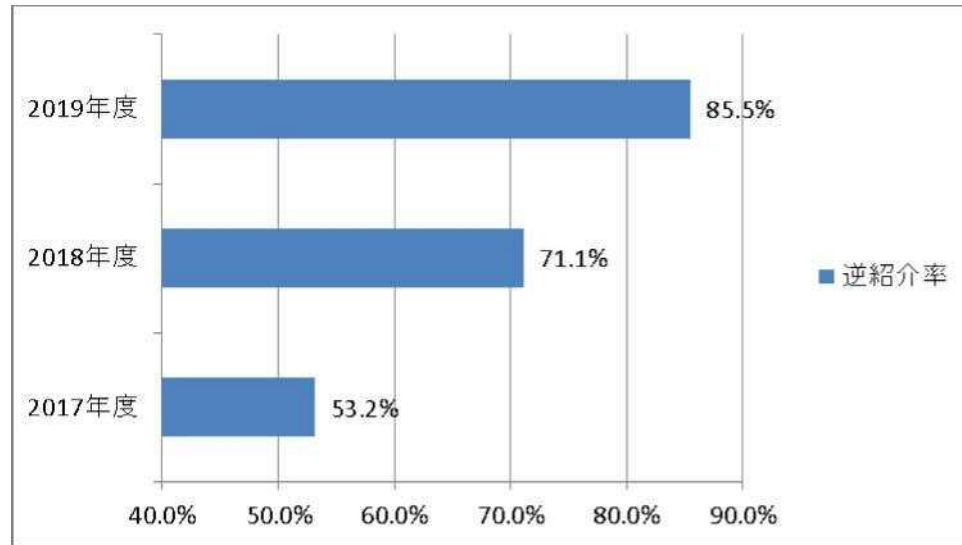
【定義】

紹介初診患者数

$\frac{\text{紹介初診患者数}}{\text{初診患者数} - (\text{休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数} + \text{休日・夜間の初診救急患者数})} \times 100(\%)$

※地域医療支援病院の定義に準拠

【逆紹介率】



【定義】

逆紹介初診患者数

$\frac{\text{逆紹介初診患者数}}{\text{初診患者数} - (\text{休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数} + \text{休日・夜間の初診救急患者数})} \times 100(\%)$

※地域医療支援病院の定義に準拠